

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2025年8月29日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	五洋建設株式会社
所在地	〒112-8576 東京都文京区後楽 2-2-8
代表者役職・氏名	代表取締役社長 清水 琢三
担当者連絡先	電話：03-3817-7550
	メール：hideki.hatakeyama@mail.penta-ocean.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.penta-ocean.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

五洋建設株式会社は1896年創業の臨海部と海外に強みを持つ総合建設業者である。国内外で海上土木工事、浚渫・埋立工事等を実施している。
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	○カーボンニュートラル実現に向けた取組み ・建設事業のCN化 ・中長期的な技術動向を見据えた作業船のCN化 ・保有SEP船による洋上風力発電拡大への貢献	Scope1,2 2030年▲50% (2019年度比) Scope3 2030年▲30% (2019年度比)
□環境 ✓社会 ✓経済	○柔軟な働き方の推進 ・現場の週休二日の定着 ・時間外削減の推進	〔閉所・休日〕 4週8閉所・4週8休の定着 〔時間外〕 法定時間外 隔月45時間以内
□環境 ✓社会 ✓経済	○DE&Iの推進に向けた取組み ・女性活躍推進 ・男性育児等取得推進 ・外国籍社員の活躍推進 ・障がい者の活躍支援	・女性総合職採用比率25%以上 ・女性管理職比率15%以上(2035年度末まで) ・男性育児休業等取得率100% ・グローバル総合職(本社採用)の継続(年5名程度) ・現地採用社員のグローバル人事制度の適切な運用 ・法定雇用率以上の障がい者雇用

(次項へ続く)

3. 添付資料

✓・SDGs達成に向けた具体的な取組(様式第2号)

### SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・人権研修の実施 ・人権相談窓口・ハラスメント相談窓口の設置 ・人権デューデリジェンスの実施					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・人権方針・行動規範の策定 ・ハラスメント防止研修(e-learningを含む)の実施 ・ハラスメント相談窓口の設置					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・代表取締役社長を委員長とするサステナビリティ推進委員会の下部委員会であるDE&I推進委員会にて、方針・施策を策定し、取組み状況のモニタリング、指導・助言を実施 ・ICTを活用した省力化・効率化、隔月45時間以内勤務制、PCログによる適正な勤怠管理の実施など																	8.5 8.8
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・人権研修の実施 ・人権相談窓口・ハラスメント相談窓口の設置 ・人権デューデリジェンスの実施				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	【目標】死亡災害発生ゼロ ・代表取締役社長を委員長とするサステナビリティ推進委員会の下部委員会である中央安全衛生環境委員会にて、方針・施策を策定し、安全衛生活動を効果的に推進している ・建設業労働災害防止協会より「コスモス(COHSMS)認定」を2008年に取得し、労働衛生マネジメントシステムを「PENTA-COHSMS」として運用			3														8
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・ストレスチェックの実施 ・長時間労働者の産業医による個別面談の実施 ・メンタルヘルスクア(セルフケア・ラインケア)研修の実施			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	《全社方針の策定》 「五洋建設グループ DE&I推進方針」の策定・公表(2025年8月7日) 《女性活躍推進》 【目標】女性管理職比率5%以上(2035年度) 【目標】新入社員女性総合職比率25%以上(2023年度から) ・介護休業・育児休業制度拡充 ・えるばし認定取得 《外国籍社員活躍推進》 ・グローバル総合職:優秀な外国籍社員を本社採用し、入社後に日本語教育や外国籍社員向け研修を施し将来のマネジメント層として育成 ・グローバル人事制度:現地採用外国籍社員を対象に、業績達成・目標達成に対して適切にインセンティブを持たせ、目標達成に対するエンゲージメントを向上 《障がい者活躍推進》 ・新宿・三鷹・横浜に障がい者が働きやすい作業室を設置し、障がい者の活躍を支援 ・法定雇用率以上の障がい者を雇用(2024.3 2.8%) 《シニア活躍推進》					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・職種別研修、階層別研修、自己啓発制度(支援金制度含む)など多様な研修・能力開発制度を提供 ・本社所属のベテラン職員が現場の若手職員に対してマンツーマンで教育を実施				4	5.5				8	9							



カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
23	<b>【環境配慮】</b> ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・環境配慮設計の推進と提案 ・浚渫土のカルシア改質による水域環境の改善(埋立等への活用、生物付着効果及びCO2吸着効果の研究) ・CELVIC(低炭素型コンクリート)の共同開発と実案件への展開 ・ZEB関連技術(ZEB簡易評価ツール、計画時ZEH-M簡易評価ツールの開発) ・木造中高層建築物に適用する部材・工法の開発 ・空調制御最適化技術の開発 ・画像解析技術を用いた現場入退場車両管理システムの開発によるCO2排出量の自動算出 ・CO2排出量を抑制した材料や施工技術の開発						6						12	13	14	15		
24	<b>【社会課題解決】</b> ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・再生可能エネルギーの供給拡大に貢献するため、SEP船3隻+HLV(大型基礎施工船)+CLV(ケーブル敷設船)体制(建造中含む)で洋上風力発電建設に対応 ・浮体式洋上風力発電低コスト化技術開発の調査研究に参画 ・各種リサイクル事業(建設発生土、汚泥、再生砕石、再生アスファルト、製紙灰、食品残渣等)の推進	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	<b>【地域への配慮】</b> ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・施工による騒音・振動の適切な管理と抑制 ・現場説明会を実施し、近隣住民からの意見を施工管理へ反映				4					9		11	12		14	15		17
26	<b>【社会貢献活動】</b> ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・海岸清掃、献血などのボランティア活動の実施 ・現場見学会の開催(子供、学生、株主等) ・寄付(大学、スポーツ振興等)				4							11			14	15		17
27	<b>【地域資源】</b> ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	・発注者の意向を確認しながら、骨材や木材などの地域資源を活用								8	9		11	12	13				



カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17												
																															
持続可能なサプライチェーンの構築	法令遵守や人権尊重、環境配慮などへの取組みを持続可能なサプライチェーン方針・ガイドラインとして策定し、協力会社をはじめとした取引先とともに持続可能なサプライチェーンの構築に取り組む(説明会、自己評価質問表(約1000社)など)			3		5				8		10					13											16	17		

**【記載留意事項】**

- 各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- 列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- 今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- 取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- 「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。